



様々な記念日

副校長 宮脇 聡



ふと気付くと、街中にカボチャがあふれています。そう、もうすぐハロウィンです。ハロウィンは、もともとは外国の行事で、秋の収穫を祝い、悪霊などを追い出す宗教的な意味合いがあったということですが、今では、宗教的な意味合いはほとんどなくなり、アメリカでは、子どもたちが魔女やお化けに仮装して近くの家々を訪れて、お菓子をもらったりする日になっています。日本でも、仮装パーティをしたり、お菓子をもらえる日として楽しまれており、最近ではすっかり定着してきました。クリスマスもそうですが、多くの海外の記念日が日本風にアレンジされ、我々も親しみ、楽しんでいます。

もちろん、日本国内でも、伝統的な行事を祝う日や、子どもの成長を祈念する日、厄が来ないように願う日等、昔から続いている記念日もあります。ひな祭りや七夕など、皆がよく知っている伝統行事も、現代では、その由来や詳細を知らない人が、意外と多くいます。また、忘れかけている伝統行事や各地方の風習等は、日本人が昔から育ててきた知恵や心、四季の移り変わりに感じた生命力や自然の恵みなど、日本人らしい感性を思い出させてくれます。色々な記念日の折に、大切にしたい日本人の感性を思い出すのもいいかもしれません。

最近では、そのような古来からの記念日や、海外からきた記念日の他にも、様々な記念日が増えています。正確には、記念日は作られています。ある企業が、自社商品の販売が見込めるだろうと作った記念日や、イベントのような日もあれば、何らかのメッセージを世の中に広めようとして作られた記念日も多くあります。「ありがとうの日」(3月9日)は、日本中の人たちが感謝の想いを届けあえる社会になるようにと作られた心温まる日、また、「宇宙の日」(9月12日)は、世界中が協力して宇宙や地球環境について考え、普及活動を行おうという日で、日本どころか世界、宇宙規模で私たちの住む地球について考えようという壮大な日です。

このように、私たちが忘れかけていたり、心がけたいことを、そっと教えてくれる記念日に、たまには注目してみるのも良いかもしれません。



10月 10月～11月中旬の行事

- 16 (月) 全校朝礼 貧血検査フォロー
- 19 (木) ⑥歯科講話(1)
- 26 (木) 東京駅伝選考会
- 27 (金) ⑤⑥進路説明会(3)
- 28 (土) 国立市青少年音楽フェスティバル
- 30 (月) 校外学習(1)(ヤクルト研究所、沢登キウイ園) 進路相談(3)始
- 31 (火) A組宿泊学習始(高尾の森わくわくビレッジ)



11月

- 1 (水) A組宿泊学習(終)
- 6 (月) 全校朝礼 安全指導
- 7 (火) 進路相談(3)終
定期考査一週間前
- 9 (木) 復習確認テスト(3)
家庭学習強化週間
- 10 (金) オリパラ交流・講演会
避難訓練
- 14 (火) A組ブラッシング指導
- 16 (木) 期末考査始(～20日)

お知らせ

10月1日より、新規採用で、用務員 **成家 鉄夫** (なりや てつお) さんが着任されました。

また、2学期より、「子供と家庭の支援員」として、**萩原さなえ先生・高木望帆先生・北脇優美先生**が授業等で支援に入っています。よろしくお願ひします。

*北脇先生はソフトテニス部の外部指導員としても御指導頂いています。

道徳授業地区公開講座 9月16日

公開授業最終日に道徳授業地区公開講座が行われました。今年度は、全体テーマを「希望と勇気 克己と強い意志」とし、各学年、A組とそれぞれの資料を用いて道徳の授業を行いました。道徳も教科と同様、主体的・対話的に考え、個々に考えを深めることを目標にしています。資料から、今までの自分を振り返り、これからの生き方に役立てようとする心情をもつことができました。



講演会『思いを貫き挑戦すること』 神保 康広 様

元車いすバスケットボール選手で4度のオリンピックに出場経験のある 神保 康広 様の講演を聞きました。

元気に過ごしていた少年時代、そして弱い自分に流されていたヤンキー時代、事故後の引きこもり生活と、親友の支え、車いすバスケットボールとの出会い、

そして全日本選手にまでなった、しかしその後も人生には色々な出来事があると話して下さいました。その神保さんから、様々なメッセージを受け取りました。

『失敗をおそれてないか？ 失敗はしても良い、むしろして欲しい。まずは行動に移そう。』

『楽しみを見つけ多に楽しもう。』

『知識・経験は人生における宝物である。』

現在、世界各国で、車いすの普及活動や開発・販売等で今なお新しいチャレンジをされていますまた、2020東京パラリンピックのサポートもしています。神保さんは、エネルギーあふれる温かい方でした



生徒会役員選挙 9月22日

生徒会役員選挙が行われました。三中では、実際の選挙と同様に、入場券を配布し投票用紙と引き換え、本物の記載台で記載、本物の投票箱へ投票します。選挙管理委員をはじめ様々な人が協力してくれました。

新生徒会役員にはさらなる活気あふれる生徒会活動を期待しています。



新生徒会役員

会長 和田 雅彰 副会長 三田ひとみ・赤塚 仁美

役員 荒井さくら・藤井 希・岡田 麻椰・森澤 優斗・渡辺 衣央



合唱コンクール 10月7日 一橋大 兼松講堂

今年度も兼松講堂で、合唱コンクールが行われました。1学期に、クラスごとに自由曲、指揮者・伴奏者を決定しました。オーディションを経て選ばれた指揮者・伴奏者もいます。また、夏休みには、登校して指導を受けました。

2学期に入り、本格的に合唱の練習が始まりました。中間テストが終わると、朝練も始まりました。いつもより早く登校してくるものの、実行委員に「並んで！」と注意されていたり、CDの歌声だけが大きく鳴っていたり……。しかし、日に日に、朝の校舎内に響く歌声が、大きくなりました。A組の生徒もそれぞれの親クラスに入り、一緒に練習していました。

どのクラスも、色々な出来事を乗り越え、本番までこぎ着けたことでしょう。合唱コンクール実行委員は、当日の準備を進めながら、クラスの仲間の気持ちをまとめなくてはならず、苦勞が絶えなかったと思います。職員室でも、先生方の話題は、我がクラスの進み具合や練習のことが多く、中には焦燥の色も見

え隠れしていました。

何十回と練習しても、本番は1回、悔いなく歌えただしょうか。行事ごとに、「最後の」が付く3年生は、特に思い入れが強かったことでしょう。4クラスとも、それぞれ素晴らしい合唱を聴かせてくれました。3年生の皆さん、ありがとう。1, 2年生は、引き継いでいきましょう。

(以下、3学年 学年便り『和』より抜粋)

散々な結果に終わった最初のリハーサル。その結果を目の当たりにした後のみなさんは、後ろを振り返るのではなく、むしろはるか先の高みを目指しているようでした。「このままじゃダメだ。」そう感じて動き出す実行委員。その緊張感や気迫に背中を押され、まとまり始めたクラス。そこからの一週間は笑いもあり、涙もあり、時には小競り合いもあったけど、それもこれもすべてクラスのため。すべての願いや思いが一つの楽譜に集約され、最終的には楽譜のその先をみんなが感じたのではないかと思います。



最優秀賞

1年2組 自由曲 COSMOS
2年2組 自由曲 手紙
3年3組 自由曲 証

優秀賞 3年1組 自由曲 春に

*優秀賞は4クラスある3学年のみが授賞

